

教科	美術	単元名	工芸「篆刻制作」
----	----	-----	----------

### 本時のねらい

- ・他者の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫などを考える。
- ・材料や用具の生かし方などを身につけ、工夫する。

### 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイノートで作品の写真を共有することで、自分のペース・タイミングで鑑賞することができる。
- ・ロイノートで作品の写真を撮影し、毎時間提出することで、作業の進捗状況を教員が把握できる。

### 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ ロイノート

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての確認 「他者のデザインの良いところや工夫しているところをまとめる」</li> <li>・印面デザイングランプリの説明を受け、自分のデザインにキャッチコピーをつける。 「匠部門」…彫りに自信がある 「ユニーク部門」…面白いデザイン 「ステキ部門」…かっこいい・かわいいのどれかにノミネートする。</li> </ul>	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートの提出箱で他者の作品を鑑賞し、作品のよさや工夫している点についてワークシート記入する。</li> <li>・ロイノートのアンケート機能を活用し、自分が注目したデザインに投票する。</li> <li>・次回の作業に向けて、印刀の新しい使い方や刃の形や大きさを生かした使い方について学ぶ。</li> <li>・作業の進捗を記録として写真撮影し、ロイノートで提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートで他者の作品写真を共有することで、自分のペース・タイミングで鑑賞することができる。</li> <li>・どのようなデザインに注目が集まるのかがわかり、今後の発想に活かすことができる。</li> <li>・作業前の篆刻持ち手の写真・作業終了後の写真を提出箱に提出し、作業の進捗状況を確認する。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を鑑賞して記入したワークシートを写真撮影して、ロイノートで提出する。</li> <li>・振り返りシートを記入する。</li> </ul>	

### 1人1台端末を活用した活動の様子



自分の作品にキャッチフレーズをつけている場面



共有された友達の作品を鑑賞し、ワークシートに記入している場面



アンケートの回答の仕方について説明を聞いている場面

### 児童生徒の反応や変容

自分のすぐ近くで一一つのデザインを確認することができる。自分のペースで鑑賞することで、仲間の作品のよいところや工夫している点に気づきやすくなり、学びを深めることができた。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今回はアンケート機能を活用しましたが、次回はシンキングツールなどを使うことで、デザインの分析や鑑賞の感想などをより効果的にまとめさせたいと考えている。さらに、違った形で交流することができるかもしれないと考えている。